近世日本の教育遺産群

ロゴマーク募集

Logo Mark Competition



「文学万代の宝」始の巻(右)と末の巻　一寸子花里画　東京都立中央図書館所蔵



算法出世宝大全(弘道館にて撮影)

世界を驚かせた、江戸の学び

江戸時代、藩校や郷校、私塾などが全国にあり、様々な身分の人々が学びを求めました。人々が自発的に学び、高度な教育水準を誇っていた姿は、幕末に日本を訪れた外国人からも驚きの目をもって迎えられました。今も残る江戸時代の学びの場である、弘道館、足利学校、旧閑谷学校や咸宜園などの「近世日本の教育遺産群」を広くPRするためのロゴマークを募集します。

募集期間　2026 11/1(日) ≫ 2027 1/31(日)



旧閑谷学校講堂の内観　写真提供:(公財)特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会



水戸の本屋
「須原屋安次郎」出版教科書
(水戸市立博物館所蔵)

賞金

最優秀賞 10万円

優秀賞 1万円

［主 催］教育遺産世界遺産登録推進協議会

応募はコチラから

問い合わせ
教育遺産世界遺産登録推進協議会事務局
(水戸市役所歴史文化財課世界遺産推進室)
〒310-8610 茨城県水戸市中央 1-4-1
TEL 029-306-8132

近世日本の教育遺産群
ロゴマーク募集

近世（江戸時代）の日本社会では、様々な身分の人々が、学ぶ意欲をもって勉学に励んでいました。当時日本を訪れた外国人は、日本人の読み書き能力の高さや礼儀正しさに驚いたといわれてます。そうした日本人の学びの文化を支えたのが、江戸時代に各地に作られた学びの場でした。今も残る近世日本の多様な学びの場「近世日本の教育遺産群」の魅力を広くPRするため、刊行物やグッズ等に活用できるロゴマークを募集します。

❖募集内容

応募資格	どなたでもご応募できます。プロ・アマ・個人・団体を問いません。
応募期間	令和8年11月1日（日）～令和9年1月31日（日）
副賞	・**最優秀賞（採用作品）　1点** （賞金10万円、構成市ゆかりの品） ・**優秀賞　2点** （賞金１万円、構成市ゆかりの品） ・**審査員特別賞　1点**（構成市ゆかりの品）
発表	令和９年４月以降予定
応募方法	いばらき電子申請・届出サービス（QR） ※手書きイラストの場合は写真を撮って上記サービスから応募ください。
応募について	・江戸時代の「学び」や「教育」、「近世日本の教育遺産群」などに関するものをモチーフとしたデザインを募集します（例：人が学ぶ様子や学びの道具、建物など）。 ・文字の利用は問いません。イラストのみの応募も可能です。 ・未公表でオリジナルのものに限ります（画像生成AI使用不可）。 ・約２cm×２cm以内まで縮小した場合や単色で利用した場合にもモチーフがわかるデザインにしてください。 ※詳しくは表面QRコードを読み取り、応募フォームの募集要項をお読みください。

お問い合わせ
教育遺産世界遺産登録推進協議会事務局
（水戸市役所歴史文化財課世界遺産推進室）
〒310-8610茨城県水戸市中央１－４－１　isan@city.mito.lg.jp

日本遺産認定第1号
近世日本の教育遺産群

❖日本最大規模の藩校



弘道館（茨城県水戸市）

❖現存する日本最古の学校



足利学校（栃木県足利市）

❖現存する日本最古の庶民のための公立学校



旧閑谷学校（岡山県備前市）

❖日本最大規模の私塾



咸宜園（大分県日田市）